

米大統領予備選挙、本日開始

- ① 本日より6月にかけて全米各州で大統領予備選挙が実施され、7月に大統領候補が決まります。
- ② 序盤戦が勢いを見る上で非常に重要です。スーパーチューズデー(3月1日)でほぼ大勢が決します。
- ③ 民主党はクリントン、サンダース両氏の一騎打ち、共和党はトランプ氏優位ながらバラつきがあります。

「序盤州」の結果が全体に影響する傾向

本日、アイオワ州の党員集会を皮切りに、民主、共和両党の米大統領予備選挙が始まります。2月中は、ニューハンプシャー、ネバダ、サウスカロライナの計4州で、党員集会または予備選挙が実施されます。これらは「序盤州(early state)」と呼ばれ、候補者の勢いを知るうえで重要です。

ちなみに、大統領候補に指名された者は、序盤2州のどちらかで勝利する傾向があります。また、共和党候補にとっては、民主党が伝統的に強いとされる南部諸州で最初の予備選挙であるサウスカロライナ州の結果も重要です。そして3月1日のスーパーチューズデーでほぼ大勢が決します。

◇次期大統領就任までの主な日程

日程	行	事
2月01日	アイオワ州	民主党党員集会 共和党党員集会
2月09日	ニューハンプシャー州	民主党予備選挙 共和党予備選挙
2月20日	サウスカロライナ州 ネバダ州	共和党予備選挙 民主党予備選挙
2月23日	ネバダ州	共和党予備選挙
2月27日	サウスカロライナ州	民主党予備選挙
3月01日	スーパーチューズデー	民主、共和とも、12州で党員集会、予備選挙
~6月下旬	残りの各州で党員集会、予備選挙	
3月09日	民主党大統領候補者討論会	
3月10日	共和党大統領候補者討論会	
7月18-21日	共和党全国大会	
7月25-28日	民主党全国大会	
9月26日	第1回大統領候補者討論会	
10月09日	第2回大統領候補者討論会	
10月19日	第3回大統領候補者討論会	
11月08日	大統領選挙、議会選挙	
1月20日	次期大統領就任式	

出所:各種報道よりアムンディ・ジャパン作成

民主党は依然クリントン氏優勢、共和党は依然波乱含み

民主、共和各党の候補者への支持率ですが、民主党はクリントン氏と、最近急速に支持を伸ばしてきたサンダース氏(民主党左派)の一騎打ちの様相です。共和党は過激な発言が目立つトランプ氏がリードしていますが、まだ支持にバラつきが見られ、依然として波乱含みです。

各党の候補が決まった際の投票態度については、昨年は民主党が共和党をリードしていましたが、最近では徐々に接近しています。右下表はCNNによる調査で、メディアによっても違いがありますが、両党とも予断を許さない状況です。

◇大統領予備選挙候補者に対する支持率調査(1月に入ってから)の主なもの、単位:%
<民主党>

期間	機関	クリントン氏	サンダース氏	その他
1月22-27日	Investor's Business Daily	50	38	12
1月21-24日	ABC News/WP	55	36	9
1月21-24日	CNN/ORC	52	38	10
1月18-21日	Fox News	49	37	14
1月15-18日	Monmouth Univ.	52	37	11
1月09-13日	NBC News/WSJ	59	34	7
1月07-10日	CBS New/NYT	48	41	11

<共和党>

期間	機関	トランプ氏	クルース氏	ルビオ氏	その他
1月22-27日	Investor's Business Daily	31	21	10	38
1月21-24日	ABC News/WP	37	21	11	31
1月21-24日	CNN/ORC	41	19	8	32
1月18-21日	Fox News	34	20	11	35
1月15-18日	Monmouth Univ.	36	17	11	36
1月09-13日	NBC News/WSJ	33	20	13	34
1月07-10日	CBS New/NYT	36	19	12	33

出所:各種報道よりアムンディ・ジャパン作成

◇1月21-24日のCNN調査による
候補者別民主vs共和の投票態度(%)

クリントン氏 対 トランプ氏	48-47
クリントン氏 対 クルース氏	47-50
クリントン氏 対 ルビオ氏	47-50
サンダース氏 対 トランプ氏	50-47
サンダース氏 対 クルース氏	50-47
サンダース氏 対 ルビオ氏	49-48

出所:各種報道よりアムンディ・ジャパン作成

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、全て受益者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託の購入時: 申込手数料

投資信託の換金時: 換金(解約)手数料、信託財産留保額

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。間接的負担には、その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等が含まれます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の費用がかかることがあります。

<ご注意>

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社(以下、弊社)が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想意見等(以下、見通し等)は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。